

OZONE

里山と同居する生活利便なまち、
大曽根・花畑・筑穂タウン

大曽根・花畑・筑穂地域で一緒に活動しませんか？

協議会メンバーやサポートメンバーなど、一緒に活動してくれる人を募集しています。
興味のある方はぜひ協議会 HP や SNS をご覧ください！
見学やお話を聞くだけでも大歓迎です。ご連絡お待ちしております！

発行 令和6年度

問合せ 下記の協議会 HP や SNS からお気軽にご連絡ください

OHTtownTV



Instagram



facebook



つくば市HP



はじめまして、大曽根・花畑・筑穂地域活性化協議会です！

私たちはこれまで活動してきて、地域が一体となって取り組むことの大切さを実感しました。協議会員の皆さんと協力して地域情報紙「大曽根・花畑・筑穂 TOWN まちあるき」を作成したことは大きな成果でしたが、継続的な活動へとつなげることが課題であると実感しています。地域全体の参画を促進することが今後の課題です。
今年もフリーペーパーの広告枠を作成し、地域のお店との協力を通じて新たなつながりを築いています。これにより、地域の人々が自ら関わりを持ち、当事者意識を高めていくことができればと考えています。来年度は、更に広告枠を拡大し、リアルな交流の場を作ることで、地域のつながりを深めていきたいと思っています。

私たちの活動紹介

2019 年度に制作した地域マップは、毎年発行の地域情報紙「大曽根・花畑・筑穂 TOWN まちあるき」に発展し、2025 年で 5 巻目となります。毎年異なった特集記事も盛り込み、地域の理解が進むように心がけています。地域内の事業者からの広告収入で作成しており、広告協賛事業者は新規の方にも少しずつご参入を頂いています。また情報紙作りの他にも、地域マルシェ、ギャラリー DAY の開催、地域キャラクターの公募、「大曽根・花畑・筑穂散歩道」の ACCS 放送や YouTube 配信などを行い、実績、制作物のストックがだんだんと増えています。

主な取り組み

- フリーペーパー「まちあるき 2025」の制作
- 「大曽根・花畑・筑穂ギャラリー DAY」を開催
- つくば ACCS（つくばのケーブルテレビ）の番組「大曽根・花畑・筑穂散歩道」の制作

大曽根小学校の生徒を対象とした地域キャラクターの公募や、筑波大学と連携したロゲイニングなどを行いました。



◆大曽根・花畑・筑穂ギャラリー DAY ◆ケーブルテレビでの発信



地域の方のアートを展示

作品展示をはじめ、昔のつくばの映像記録の上映、コーヒーや野菜を販売するマルシェ、消防車の展示や AED 講習会など内容盛りだくさんのイベントを実施しました。



協議会を中心とした有志で制作

つくばケーブルテレビ ACCS 番組「大曽根・花畑・筑穂散歩道」を、大曽根・花畑・筑穂活性化協議会およびフラワーフィールドズのメンバーを中心とした有志で制作を行っています。毎月テレビと YouTube で配信中です！

◆大曽根・花畑・筑穂 TOWN まちあるき



地域の理解が進むよう地域情報紙を作成

2019 年度に制作した地域マップは、毎年発行の地域情報紙「大曽根・花畑・筑穂 TOWN まちあるき」に発展し、2025 年で 5 巻目となります。毎年異なった特集記事も盛り込み、地域の理解が進むように心がけて作っています。地域内の事業者からの広告収入という形で自主財源を例年 30 万円近く作っていますが、広告協賛事業者は、毎年入れ替わりもありつつ、新規の方にも少しずつご参入を頂いています。

大曽根・花畑・筑穂地域が目指すまちづくり

里山と同居する生活利便なまち、大曽根・花畑・筑穂タウン

無理なく続けられる構造を作り、自然な形で地域を盛り上げていきたい

今後は協議会の事業が、助成金なしでも無理なく自走し続けられるような仕組みを考えていく段階に入っている、と考えています。自主財源の強化、経費の見直し等、経理関係のやりくりは勿論のこと、活動の内容自体が構成員にとって Win-Win になり、活動を続ける理由が自然と湧いてくるような構造も不可欠です。

地域が活性化して直でメリットがあるのは、商業を営んでいる事業者ですが、その意味で、地域に根ざした事業者ともしっかりと繋がり、誰もお客様にしない形で、各々が気持ちよく動いて自然に地域を盛り上げていけるようなコミュニティが作れたらと思います。

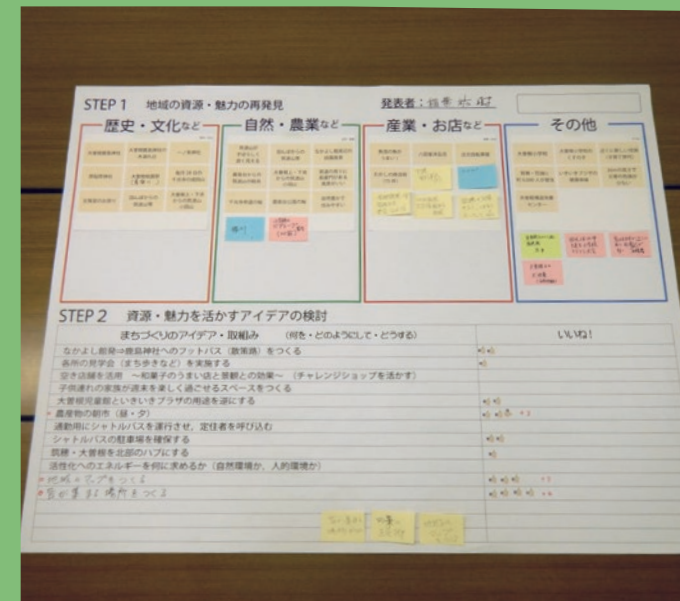


大曽根・花畑・筑穂地域活性化協議会
川村 葉月

まちづくりについて話し合うきっかけ

2018 年に行われた「周辺市街地まちづくり合同勉強会」を契機として、地域ならではの資源や魅力を活かしながら、活気ある地域づくりを進めていくための取り組みを進めてきました。現在の活動や未来の地域へと続く第一歩である、自分たちの住む地域を再発見するための当時のワークショップの様子をご紹介します。

話し合った成果



ワークショップの様子

